

全員協議会 会議録（要点筆記）

日時：令和6年8月19日（月）

場所：全員協議会室

午後1時30分 開会

午後2時21分 閉会

【上程議案の補足説明】

1. 専決処分の報告について

（施設管理に起因する事故の和解及び損害賠償の額の決定）

森田和幸教育部長：資料に基づき説明

質疑なし

2. 令和5年度半田市決算に係る健全化判断比率について

伊藤奈美総務部長：資料に基づき説明

質疑なし

3. 令和5年度半田市公営企業決算に係る資金不足比率について

岸岡宏昌水道部長：資料に基づき説明

質疑なし

4. 知多南部卸売市場株式会社の経営状況について

大山仁志市民経済部長：資料に基づき説明

質疑なし

5. 地方独立行政法人知多半島総合医療機構への職員の引継ぎに関する条例等について

坂元照幸半田病院事務局長：資料に基づき説明

質疑なし

6. 半田赤レンガ建物の指定管理者の指定について

大山仁志市民経済部長：資料に基づき説明

質疑なし

【報告案件】

1. 電力データを用いたフレイル予防サービスの開始について

竹部益世福祉部長：資料に基づき説明

中村和也議員：対象者を65歳以上でひとり暮らしの方に絞った理由を教えてください。

竹部益世福祉部長：中部電力が提供するAIを用いて分析されたデータは、AIが実習した65歳以上の対象者を過去に分析したデータです。そのデータに基づいて行うことになるため、この層（65歳以上）でしか健康状態が判断できないということです。

中村和也議員：ひとり暮らしは住民票上で一人の方なのか、ひとり暮らしの判定はどのようにされているのでしょうか。

竹部益世福祉部長：実際にひとり暮らしの方が対象となります。

有留麻由議員：対象者を要支援、要介護の認定を受けていない方とした理由を教えてください。

竹部益世福祉部長：AIが判定した過去のデータは、要介護、要支援のみのケースで分析したものです。それを当てはめるために、要介護、要支援の認定を受けていない方を対象としました。

坂井美穂議員：65歳以上の該当になる方が、案内チラシなどを見てサービスを受けたいと思うよりも、遠方にいる家族がひとり暮らしの親に受けてもらいたいと思うケースの方が多いと思います。周知方法に市報・ホームページへの掲載、LINEからの発信とありますが、遠方にいる家族に向けた周知方法などはありませんか。

竹部益世福祉部長：民生委員にも事業について周知をさせていただくなど、様々な方法で周知していきたいと思っており、ご家族や地域の方などから申し込み支援があることを期待しています。ただ、申し込みについては、ご本人に行っていただく必要があります。

2. 教育に関する事務の管理及び実行状況の点検及び評価の結果報告書について
森田知幸教育部長：資料に基づき説明

質疑なし

3. 亀崎小学校校舎改築工事等について

森田知幸教育部長：資料に基づき説明

間瀬恒幸子ども未来部長：資料に基づき説明

質疑なし

4. 地方独立法人知多半島総合医療機構第1期中期計画（素案）について

坂元照幸半田病院事務局長：資料に基づき説明

中村和也議員：収支計画について、知多半島総合医療センターの最初の2年間は赤字であるものの、令和9年からは黒字に転換されていくことの説明は理解できました。一方で、知多半島りんくう病院の方については、令和9年以降もずっと赤字が継続されていく理由は何ですか。

坂元照幸半田病院事務局長：赤字の要因の一つは、人件費率が大きいということです。直ちに人員を削減することはできませんので、法人になってから黒字化に向けた改善策を打っていくことになります。りんくう病院が今後黒字化できるように、法人全体で機能分担については見直しを図るべきと考えています。

中村和也議員：りんくう病院の方が、人件費が多いということですが、これから一つの行政法人になることですので、半田の方（知多半島総合医療センター）に人件費を割り当てるなどして、経営改善を図っていけば数値的には良くなると考えますか。

坂元照幸半田病院事務局長：機能分担を図っていますので、医師や看護師の移動も反映したうえでの収支計画になっています。ただ、直ちにりんくう病院から急性期医療など全ての救急医療を医療センターに集約することはできませんので、段階的に人件費の適正化を図ってまいりたいと思います。

午後2時21分 閉会